

施工業者様用

〈施工説明書〉

デザイン階段

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守ってください。



必ずおこなう

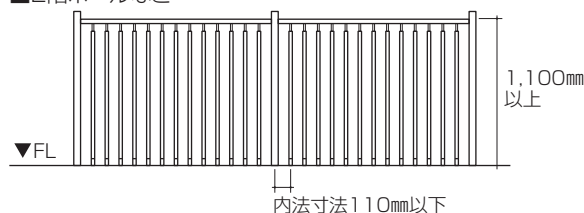
・躯体の強度を確保してください。

階段が取り付け位置には、十分な強度のある柱・間柱・胴縁や梁・大引などの下地があることを確認してください。

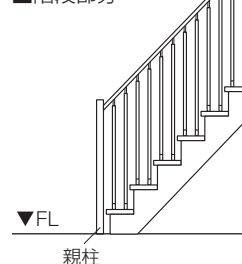
・子柱は、子供がすり抜けないように内法110mm以下で取り付けてください。

・2階ホールの手すりの高さは1,100mm以上としてください。

■2階ホールなど



■階段部分



・指定の固定方法で取り付けてください。

・指定の下穴をあけてご使用ください。

・取り付け後にガタツキ、緩み、ビスの締め忘れがないか確認してください。

・万が一ガタツキ、ヒビなどの不具合を発見した場合は、直ちに使用をやめて取付業者または販売店にご連絡ください。

注意!

・屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。

・開梱後は換気を行ってください。本製品は、ホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品ですが、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすいため、換気を行うようにしてください。

・階段の勾配が45°を超える場合は、手すりを両側に取り付けてください。

・手すりは踏面から750~800mmの高さに取り付けてください。

・手すりは連続して取り付けてください。

お願い

・下穴はネジ径の80~85%を目安としてください。

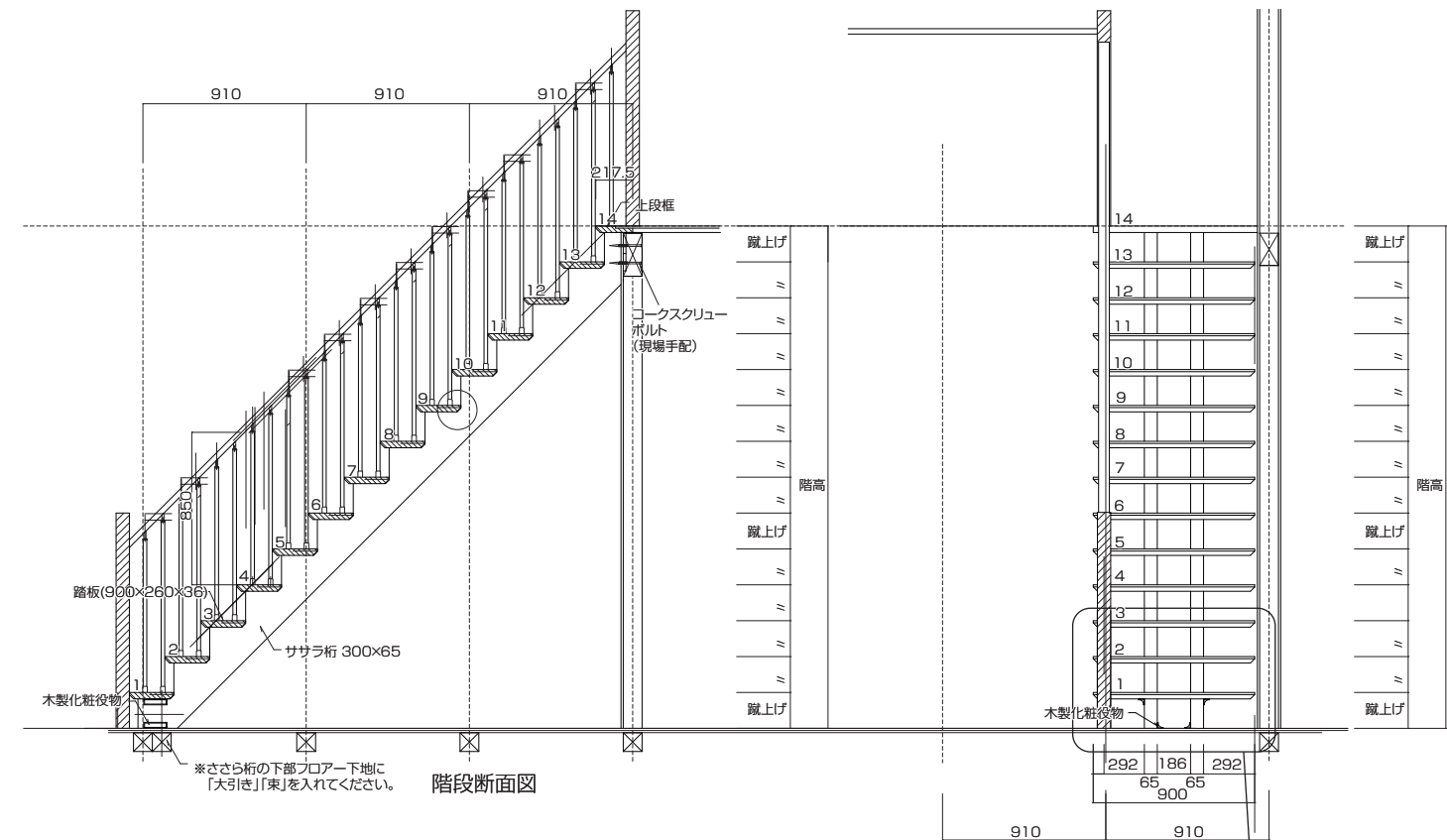
・ポリウレタン系接着剤(別売)を少量充填しておくことも緩み止めに効果があります。

・手すりの接続、手すり・親柱・子柱との接続、手すり・親柱・子柱の躯体との接続は、ポリウレタン系接着剤(別売)を使用して強固に取り付けてください。

1. 納まり例

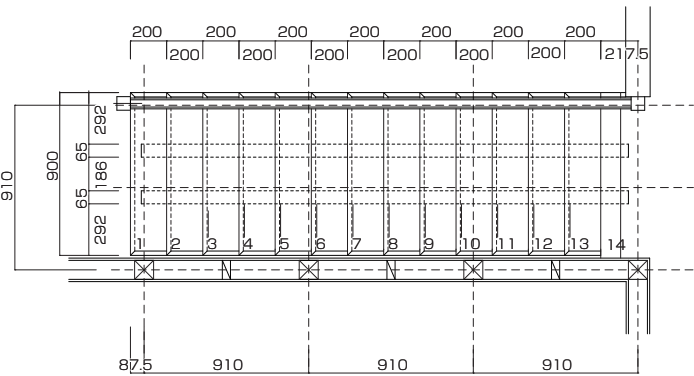
踏面は200mm限定になります。

(単位:mm)

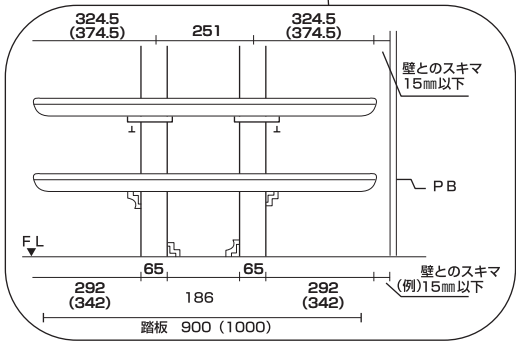


階段断面図

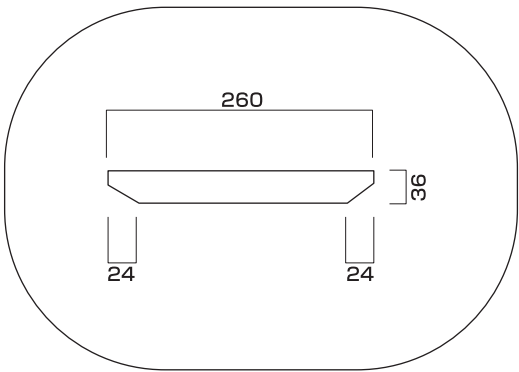
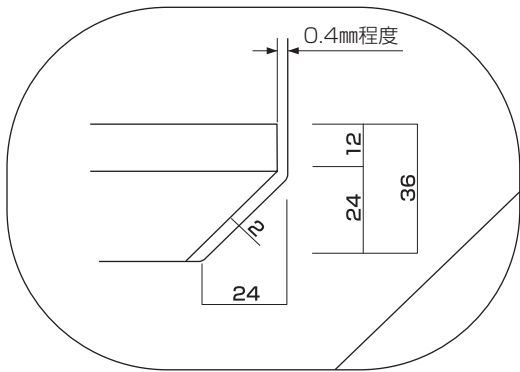
階段正面図



階段平面図



A部分拡大図

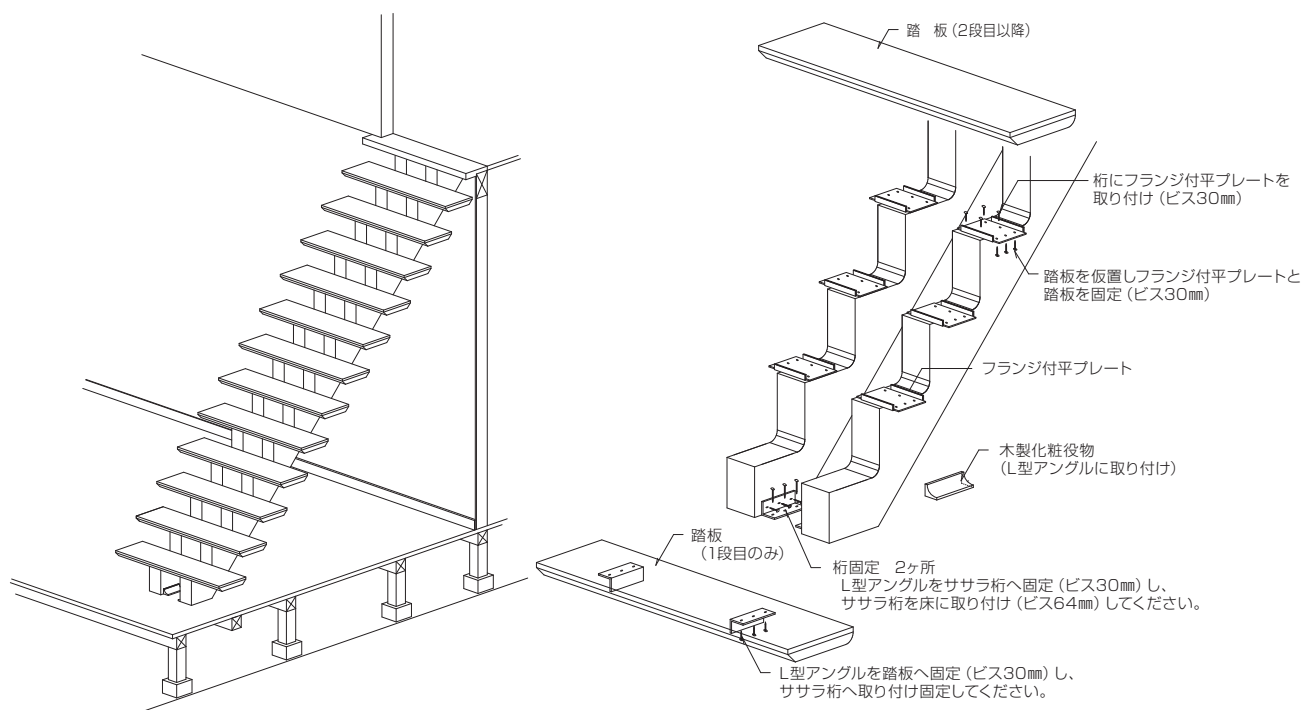


開梱

梱包を解いたら、部材に不足および問題がないかどうか確認してください。

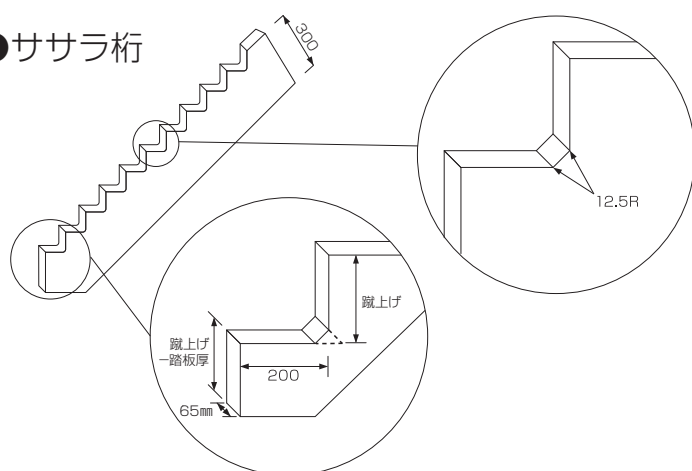
製品に水濡れ等不具合があった場合は必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。

2. 全体図

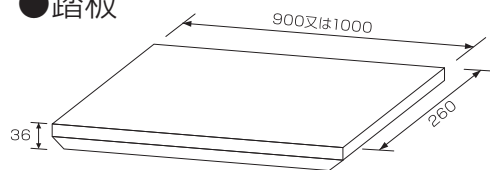


3. 寸法図

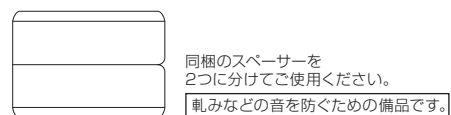
●ササラ桁



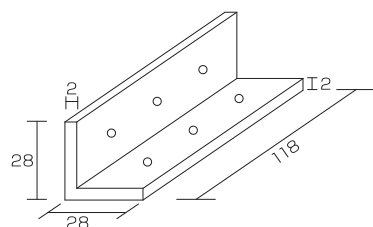
●踏板



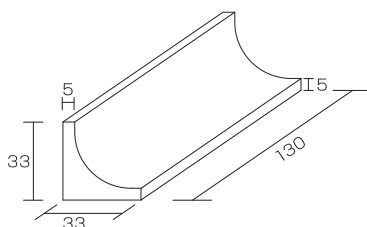
●スペーサー ※ささら桁に同梱



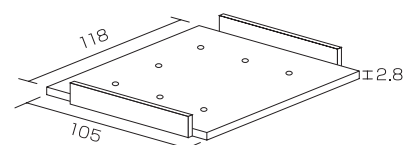
●金物 (L型アングル)



●木製化粧役物



●フランジ付平プレート

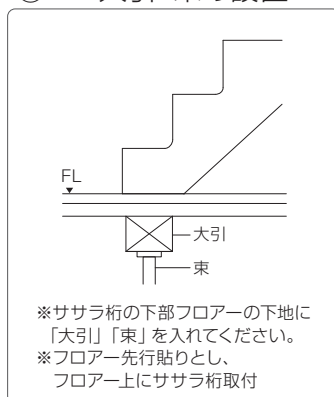


4. 施工の前に

- 本製品は、躯体に直に施工していきますので、強度を十分に考慮して、施工してください。
- 必ず大引き・束・梁に施工してください。
- 梁と、部材の連結部の加工を予め行ってください。

【躯体の確認】

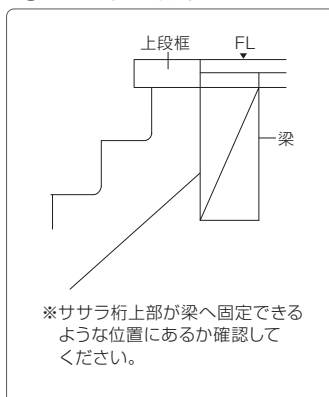
①-1 大引・束の設置



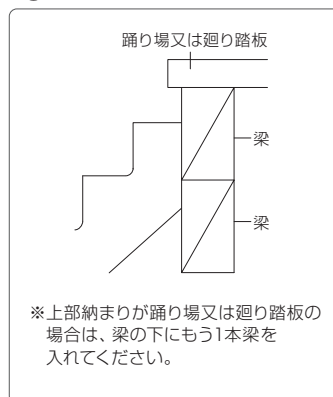
①-2



②-1 梁の設置

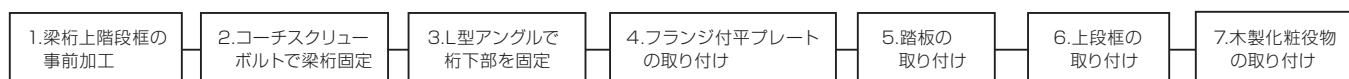


②-2



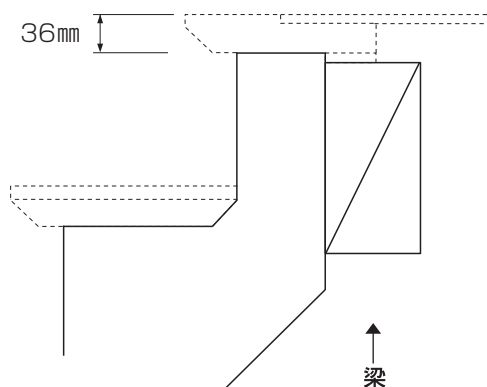
5. 施工手順

(単位:mm)



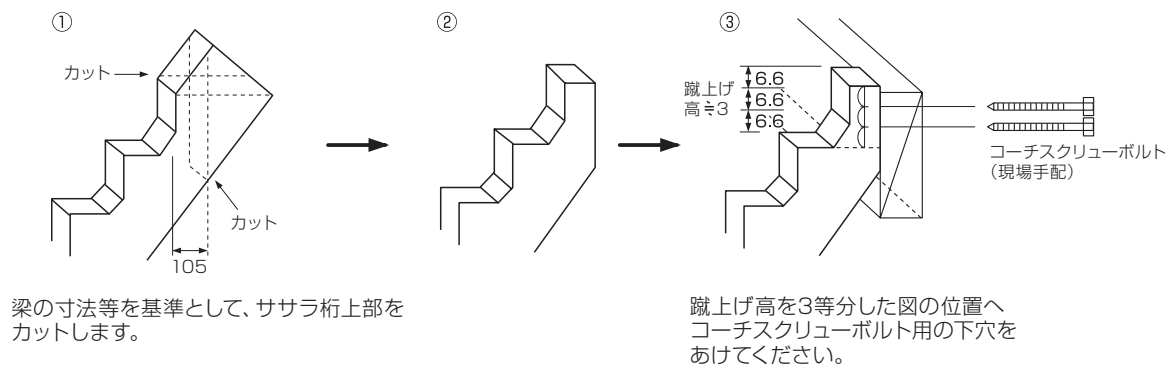
① ササラ桁と梁・上段框の納まり

※上位階の床仕上がり位置から36mm下がった位置に合わせてササラ桁を取り付けてください。



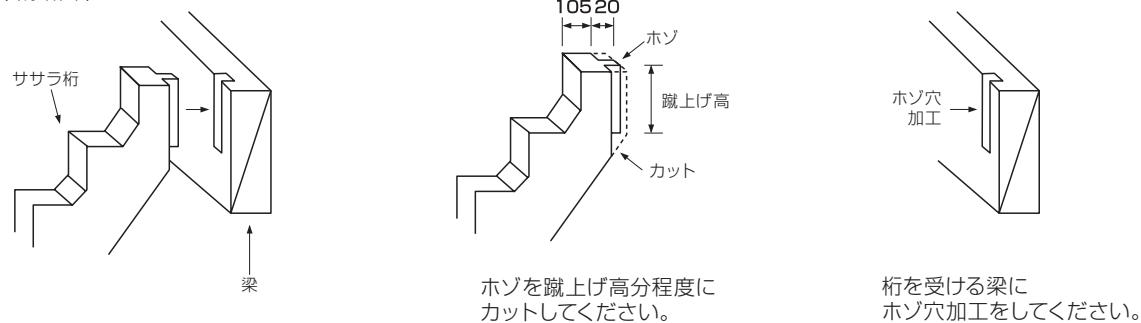
② ササrah上部、梁の加工

ササrahが取り付け寸法よりのびがある場合



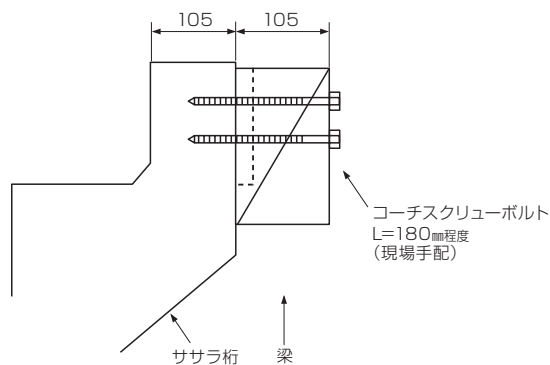
ササrah上部がホゾ加工の場合ー推奨現場施工

〈概略図〉



③ ササrah上部の連結

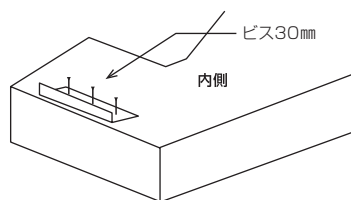
コーチスクリューボルト L=180mm程度 (現場手配) にて梁とササrahを確実に固定してください。



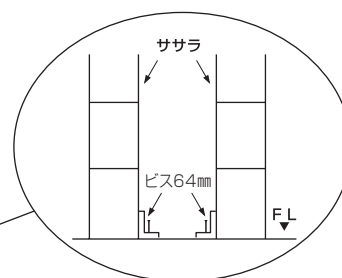
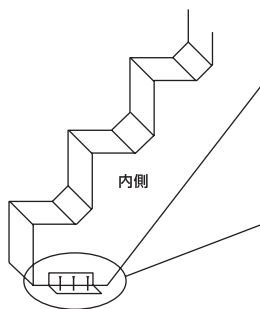
④ L型アングルの取り付け

フローアへの結合

ササラ桁下端のラインに
L型アングルをセットして取り付けます。



ササラ下部にL型アングルを取り付けます。
(ビスL=30mm)



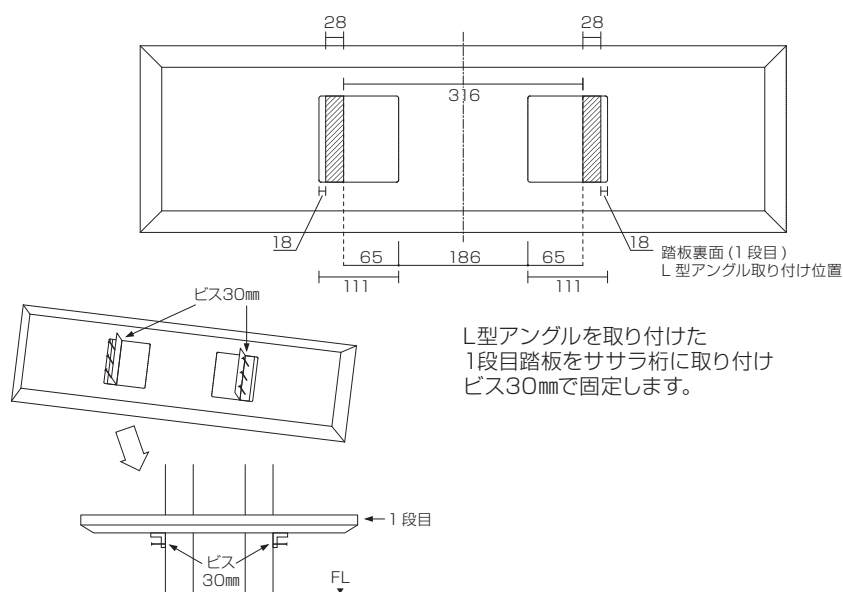
※ササラ下部に取り付けたL型アングルを
床に取り付けます。(ビス L-64mm)

⚠ 注意

L型アングルは誤った使い方をしますと
その効果が失われてしまいますので、
正しい使い方をしてください。

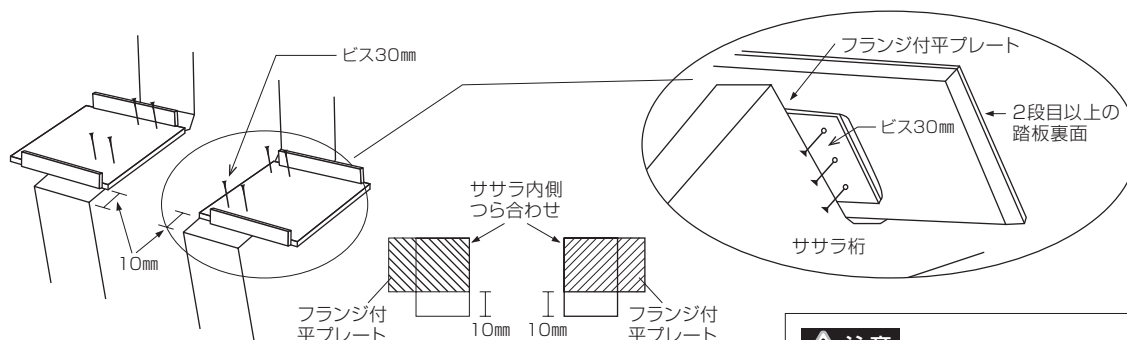
⑤ L型アングルの取り付け〈1段目の踏板のみ〉

裏面にL型アングルを取り付けます。L型アングルは踏板裏面にほられた
加工掘の中で斜線部の位置にビスL=30mmで取り付けます。



L型アングルを取り付けた
1段目踏板をササラ桁に取り付け
ビス30mmで固定します。

⑥ フランジ付平プレートの取り付け〈2段目以降〉



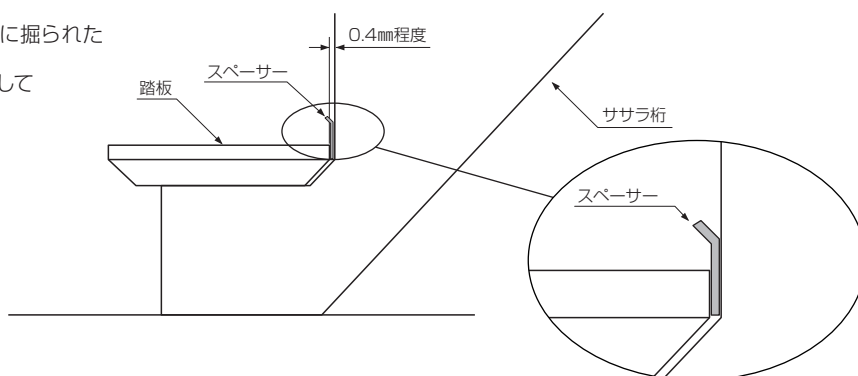
2段目以降の踏板を「フランジ付平プレート」で固定します。
フランジ付平プレートはササラ桁内側でつらを揃え、
ササラ桁先端から10mmの位置で、ビス30mmで固定します。

⚠ 注意

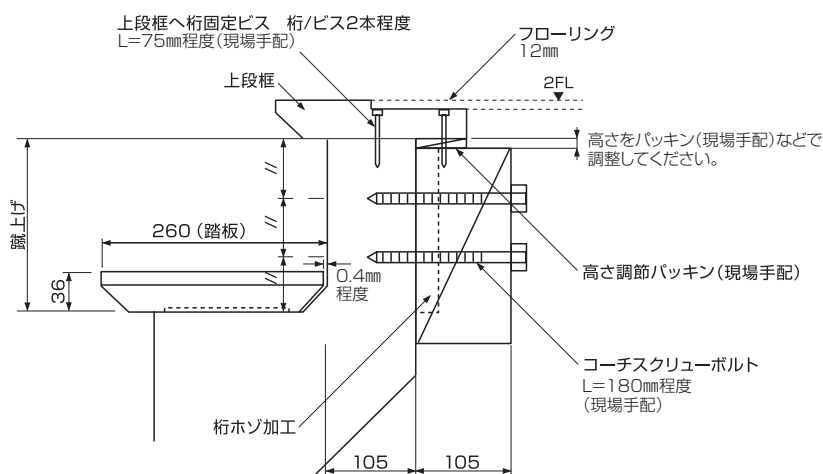
プレートのフランジの向きは踏板と
平行になります。

⑦ 踏板の固定位置について

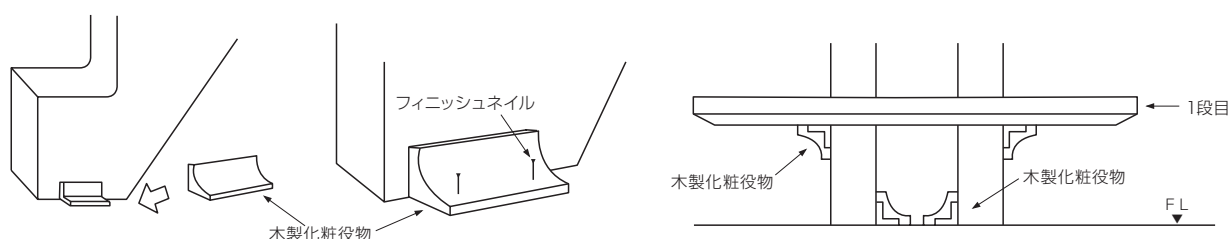
L型アングル・フランジ月平プレートと踏板裏面に掘られた座掘りにはクリアランスが設定されています。踏板を固定する場合、同梱のスペーサーを使用して桁と踏板の間に0.4mm程度の隙間を空けて固定してください。隙間がないと階段の昇り降りをする際の軋みなどの音が発生する要因となります。



⑧ 上段框の取り付け



⑨ 木製化粧役物の取り付け <フローアー部分>



L型アングルの上から、木製化粧役物を接着剤、フィニッシュネイル等で取り付けます。

施工終了後

■養生

施工後は木屑や砂・ゴミをきれいに取り除いて、ダンボール・ベニヤまたは養生カバー等で隙間なく養生してください。市販のガムテープ等は粘着力が強く、化粧単板および塗膜のハガレの原因になりますので、別売りの養生テープ(ZY0211)をご使用ください。

■お手入れのしかた

当製品が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

■自然塗料塗装品のお手入れのしかた

自然塗料塗装品は水分厳禁です。自然塗料塗装品をお手入れする際に、水は絶対に使用しないでください。毛羽立ち、白化、シミ等の原因となるおそれがあります。

